

認定中心市街地活性化基本計画のフォローアップに関する報告

平成24年3月

北九州市小倉地区（福岡県）

平成23年度フォローアップ結果のポイント

計画期間；平成20年7月～平成25年3月（4年9月）

1. 概況

基本計画掲載事業103事業のうち、28事業が完了、70事業が実施中、5事業が未着手である。

公共事業では、平成23年8月に「浅野町線（シンボルロード）整備」が完了したほか、平成24年3月には「勝山公園再整備事業」及び「住宅市街地総合整備事業（長浜地区）」が完了した。また、平成24年8月には「（仮称）北九州市漫画ミュージアム整備事業」、平成24年度末には「快適に回遊できる歩行空間創出事業」が完了を予定するなど、概ね予定通りの進捗である。

民間事業においては、依然として厳しい昨今の経済状況から、「小倉駅南口東地区市街地再開発事業」や「チャチャタウン小倉2期開発事業」など一部の事業で着手に時間を要しているものの、平成24年3月に「魚町3丁目複合商業施設開発事業」が完了したほか、平成24年4月には「小倉駅北口商業ビル（ラフォーレ跡）再生事業」や「（仮称）TANGAコンプレックス新築事業」が完了を予定しており、まちの賑わい創出に寄与する新たな施設が続々と完成してきている。

また、これらの大規模施設整備に加えて、夜のにぎわいづくりとして、遊休地を活用し屋台村を設置する「にぎわいの駅・小倉屋台村事業」、老朽化したアーケードの改修に合わせてLED照明灯の設置や舗装補修を行う「（仮）京町銀天街ショッピングモール化事業」など、これまで未着手であった事業の事業着手や新規事業の追加など、都心部の魅力づくりを地域が一丸となって進めている。

2. 目標達成の見通し

目標	目標指標	基準値	目標値	最新値	前回見通し	見通し
広域商業拠点の賑わいの向上	商店街エリアを中心とした歩行者通行量	146,958人/日 (H19年度)	177,000人/日 (H24年度)	150,658人/日 (H23年度)		
	既存の主要大型商業施設の年間来店者数	48,695,683人/年 (H18年度)	52,000,000人/年 (H24年度)	46,191,876人/年 (H22年度)		
文化的で非日常的な都心の魅力向上	主要な歴史・文化・コンベンション施設の年間来場者数	約165万人/年 (H18年度)	197万人/年 (H24年度)	157.7万人/年 (H22年度)		
昼間人口の拡大による活力向上	事業所従業者数（民営）	64,612人 (H18年)	69,000人 (H24年)	70,568人 (H23年)		

注）取組（事業等）の進捗状況が順調であり、目標達成可能であると見込まれる。

取組の進捗状況は概ね予定通りだが、このままでは目標達成可能とは見込まれず、今後対策を講じる必要がある。

取組の進捗状況は予定通りではないものの、目標達成可能と見込まれ、引き続き最大限努力していく。

取組の進捗に支障が生じているなど、このままでは目標達成可能とは見込まれず、今後対策を講じる必要がある。

取組が実施されていないため、今回は評価対象外。

3. 目標達成見通しの理由

「商店街エリアを中心とした歩行者通行量」については、昨今の厳しい経済状況から、スケジュールが遅れている事業があるものの、これまで継続的に実施してきた「小倉都心賑わいづくり推進事業」などの様々なソフト事業の効果や、平成22年12月に完了した「小倉記念病院新築移転事業」の効果による市内外からの来街者の増加により、昨年度に引き続き増加している。また、平成24年3月から8月にかけて、「魚町3丁目複合商業施設開発事業」や「(仮称)北九州市漫画ミュージアム」など、小倉駅周辺に新たな集客拠点が次々とオープンすることから、小倉駅南北の回遊性を高める新たな取り組みを行うなど、今後も積極的な事業進捗を図ることで、目標の達成は可能と見込まれる。

「既存の主要大規模商業施設の年間来店者数」については、「商店街エリアを中心とした歩行者通行量」と同様の事業が目標達成に影響するが、当該指標に特に影響が大きい拠点開発等の事業が進んでいないことなどから、昨年度に引続き減少している。当初、基本計画期間内に完成予定であった主要事業のうち、「旦過第一地区市街地再開発事業」は、地権者の合意形成が難航していたエリアにおいて、市の河川事業と一体的に進めることで早期事業着手できるように、関係機関との協議を開始するなど、官民一体となった事業推進を図っているものの、計画期間内の完了は難しく、また、「チャチャタウン小倉2期開発事業」は、経済情勢の悪化により、平成21年9月に事業主体である西日本鉄道(株)より事業延期の発表があっているなど、数値目標の達成に資する主要事業の進捗が遅れが生じていることから、このままでは目標達成可能とは見込めない。

「主要な歴史・文化・コンベンション施設の年間来場者数」については、歴史・文化施設が好調で、多種多彩な画家・芸術家等の作品展の開催により、年々来場者が増加している「美術館企画展事業」や、平成22年10月にリニューアルオープンを果たした「九州厚生年金会館リニューアルオープン事業」などの効果により、昨年度から一転、増加に転じている。一方、昨今の厳しい経済状況により、大規模コンベンション施設を利用した展示会等の開催が大幅に減少していることから、コンベンション施設の年間来場者数は減少を続けており、総数として、このままでは目標達成可能とは見込めない。しかしながら、平成24年度には、昨年度完成した「浅野町線(シンボルロード)」を活用し、「B-1グランプリ in 北九州」等の大規模コンベンションを複数予定しているなど、目標達成に向けた取り組みを積極的に進めることとしており、今後とも、歴史・文化施設の集客力強化に資する取り組みを継続して実施するとともに、「コンベンション振興事業」等による誘致活動を精力的に行い、目標達成に向けて全力で取り組んでいく。

「事業所従業者数」については、平成22年12月に完了した「小倉記念病院新築移転事業」の雇用創出により、当初の想定を上回る1,500人程度の従業者数が増加したことから、平成23年度では数値目標を達成している。また、主要事業である「小倉駅南口東地区市街地再開発事業」など、事業着手に時間を要している事業があるものの、平成24年度には、「魚町3丁目複合商業施設開発事業」や「(仮称)浅野複合老健施設新築事業」が完了を予定しているほか、「街なかオフィス立地促進事業」による新たなオフィスの立地による新規雇用の創出などを継続して実施することにより、さらなる従業者数の増加に努めることとしており、数値目標の達成は可能と見込まれる。

4．前回フォローアップと見通しが変わった場合の理由

「既存の主要大規模商業施設の年間来店者数」については、来年度、基本計画の最終年度を迎える中、平成22年度に完了した「小倉記念病院新築移転事業」のように、既に効果を発現している主要事業はあるものの、「チャチャタウン小倉2期開発事業」、「旦過第一地区市街地再開発事業」など、目標達成に影響の大きい事業のうち、未着手または準備段階となっている事業もあり、今後、速やかに着手できたとしても、計画期間内の事業完了は難しいため。

「主要な歴史・文化・コンベンション施設の年間来場者数」については、数値目標の達成に資する事業(追加事業を含む)は概ね完了(予定含む)し、事業効果は発現してきているものの、全国的な経済情勢の悪化による大規模コンベンション施設を活用した展示会等が減少し続けていることにより、数値目標の達成が難しくなっているため。

5．今後の対策

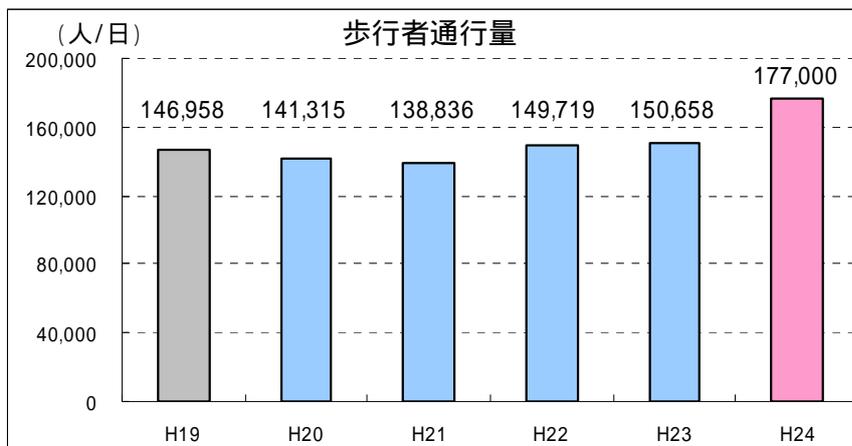
中心市街地活性化協議会を中心に、更なる事業間の調整や連携に加えて、事業推進のために強化したマネジメント体制を持続させる。

これにより、現在の取組みを着実に進めていくとともに、遅れが生じている事業の調整・着手、地域の魅力をさらに高める効果的な新規事業の追加など、目標達成に向けた取組みを着実に進めていく。

・目標毎のフォローアップ結果「広域商業拠点の賑わいの向上」

「商店街エリアを中心とした歩行者通行量」 目標設定の考え方基本計画 P70～P71 参照

1. 調査結果の推移



年	(人/日)
H19	146,958 (基準年値)
H20	141,315
H21	138,836
H22	149,719
H23	150,658
H24	
H24	177,000 (目標値)

調査方法；実測数の平均

調査月；H20～H21：8月下旬～9月上旬

H22～H23：8月、10月、12月、2月の平均値

調査主体；北九州市

調査対象；商業集積エリア内の11ヶ所における歩行者通行量（9時～19時）+

2. 目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

・小倉記念病院新築移転事業（(財)平成紫川会）

事業完了時期	【済】平成22年度
事業概要	総合病院の整備 24診療科目 658床
事業効果又は進捗状況	平成22年12月に開院。病院利用者は約4,000人/日となっており、歩行者通行量の増加及び大規模商業施設の来店者数の増加に寄与。

・魚町銀天街ショッピングモール化事業（魚町一丁目商店街振興組合、魚町商店街振興組合）

事業完了時期	【実施中】平成21年度～
事業概要	2つの商店街をつなぐ国道上のアーケードの新設と既存アーケードの改修、商店街活性化に向けた一体的なソフト事業の実施。
事業効果又は進捗状況	平成22年3月にアーケードが完成し、商店街の回遊性向上に寄与。今後も引き続き、逸品屋フェアなどの商店街活性化のソフト事業を実施する。

・小倉地区賑わい回復イベント事業（小倉中央商業連合会）

事業完了時期	【実施中】平成12年度～
事業概要	都心部の賑わいと消費拡大をテーマとした集客促進のイベントの実施
事業効果又は進捗状況	毎年、様々な工夫を凝らし、「大道芸フェスティバル(5月)」や「十日ゑびす(1月)」、「小倉食市食座(2月)」を実施し、また、九州新幹線全線開業に合わせて、規模・エリアを拡大して、「小倉さくらまつり(3月)」を実施するなどにより、主要大規模商業施設の来店者数の向上にも寄与している。

・小倉都心賑わいづくり推進事業（紫川、勝山公園の魅力を生かした四季折々のイベント）（北九州市/実行委員会）

事業完了時期	【実施中】平成21年度～25年度
事業概要	紫川周辺の公共空間を活用したイベント等を開催
事業効果又は進捗状況	平成23年度は、イベント数10件で、延べ来場者約167万人を集客するなど紫川や勝山公園を中心に、季節に応じた特色のあるイベントを実施し、賑わいや回遊性の向上に寄与。

・魚町銀天街ICポイントカードシステム事業（魚町一丁目商店街振興組合、魚町商店街振興組合）

事業完了時期	【実施中】平成21年度～
事業概要	ICカードを用いたポイントカードの導入
事業効果又は進捗状況	平成22年4月よりポイントカード事業開始。 多様な事業主体と連携したICカード事業を実施するほか、カードシステムを活用したイベントなどを実施し、商店街の賑わいの回復を図る。

・アーケード内の道路空間を利用した情報発信事業（魚町一丁目商店街振興組合、魚町商店街振興組合）

事業完了時期	【実施中】平成20年度～
事業概要	アーケード内の情報発信と広告事業
事業効果又は進捗状況	平成22年4月にデジタルサイネージ（電子看板）を整備し、商店街や街の様々な情報を発信することで、商店街の活性化を図る。

・旦過第一地区市街地再開発事業（旦過第一地区市街地再開発組合（予定））

事業完了時期	【未】平成24年度
事業概要	旦過市場の再整備
事業効果又は進捗状況	古い商店街を再開発し、新たな集客核とする事業。 現在、再開発準備組合による地権者の協議に時間を要しており、全体のスケジュールは遅れているが、平成24年度内の都市計画決定に向けて施設計画等を検討中。

・チャチャタウン小倉2期開発事業（西日本鉄道株）

事業完了時期	【未】平成24年度
事業概要	バス営業所、バス駐機場、商業施設、駐車場を備えた複合施設の整備
事業効果又は進捗状況	世界的な不動産不況や高速道路ETC割引等によるバス事業の収益の悪化などにより、事業主体である西日本鉄道株が事業着手時期を慎重に見極めたいとしてスケジュールが遅れているが、引続き事業化に向けて検討中。

・小倉駅北口商業ビル（ラフォーレ跡）再生事業（株アパマンショップホールディングス）

事業完了時期	【実施中】平成24年度
事業概要	既存のラフォーレビルを活用して小倉駅北口地区の新たな拠点として再生を図る。
事業効果又は進捗状況	漫画、アニメ、お笑い等のサブカルチャーをテーマとしたテナント誘致を進めており、平成24年4月にオープン予定。本施設の5、6階では、（仮称）北九州市漫画ミュージアムが入居を予定しており、平成24年8月のオープンを予定している。

・(仮称)北九州市漫画ミュージアム整備事業(北九州市)

事業完了時期	【実施中】平成24年度
事業概要	漫画文化の拠点整備 約2,300㎡(予定)
事業効果又は進捗状況	平成22年2月に小倉駅北口商業ビル(ラフォーレ跡)6、7階で整備することを決定(平成23年4月に5、6階に変更を発表)し、平成22年5月に基本協定を締結。平成22年度に設計に着手し、平成23年度工事着手、平成24年8月オープン予定。

・【追加】(仮称)旧小倉ホテル跡地整備事業(住友不動産株)

事業完了時期	【未】平成24年度
事業概要	医療モール、分譲住宅、商業施設及び交流センターの整備
事業効果又は進捗状況	平成23年2月の解体工事着手を予定していたが、厳しい経済情勢が続いているなどから、事業着手には至っていない。

・【追加】魚町3丁目複合商業施設開発事業(株)リアルエステートサービス)

事業完了時期	【済】平成23年度
事業概要	地産地消の生鮮食品を中心とした商業施設及びトイレや駐車場等の利便施設の整備
事業効果又は進捗状況	平成21年度から基本設計・実施設計及びテナントリーシングを進め、平成22年度着工、平成24年3月完成。商店街活性化のためのソフト事業もあわせて実施することにより、新たな集客核として期待される。

・【追加】魚町商店街コミュニティスペース建築事業(魚町商店街振興組合)

事業完了時期	【済】平成21年度
事業概要	商店街内の空地を活用して、コミュニティスペースや会議室、トイレなどの利便施設やチャレンジショップ(3階建て125㎡)を整備。
事業効果又は進捗状況	コミュニティスペース等が平成22年3月に完成し、来街者の利便性向上や街の情報発信拠点として賑わい創出に寄与。

・【追加】小倉都心プロモーション事業(WeLove小倉プロジェクト)(WeLove小倉協議会/実行委員会)

事業完了時期	【実施中】平成22年度～
事業概要	市内外に向けたまちの情報発信や、四季折々のイベント等と連携したプロモーションイベントの実施、来訪者へのおもてなし活動、歩行者天国などの新たな魅力づくりなど、地域一体による取り組みを進める。
事業効果又は進捗状況	平成22年10月WeLove小倉協議会を発足し、キックオフイベントを開催。平成23年2～3月九州新幹線全線開通を記念して、テイクオフキャンペーンを実施。平成24年2月には都心部のメインストリートを歩行者天国にして賑わいづくりイベントを行う「まちなかホコテン」を開催。

・【追加】「九州新幹線を活用した観光客誘致プロモーション事業」(北九州市)

事業完了時期	【実施中】平成22年度～
事業概要	九州全島及び関西以西をタ・ゲットとした広域からの来街者誘導活動
事業効果又は進捗状況	平成22年度は、九州新幹線全線開通に伴い、誘客重点エリアである広島、熊本、鹿児島において、旅行会社等への積極的なセールス活動やフリーペーパーなどの地元メディアを活用した周知活動を展開するとともに、同エリアの主要駅における観光イベントや交通広告を活用したPRキャンペーンを積極的に行うことで北九州市の多彩な魅力の発信に務め、小倉地区を含めた北九州市への一層の観光客集客に寄与。 平成23年度は、活動エリアを広げ、広島、岡山、熊本、久留米、鹿児島地区において、前年度に引き続き、様々なPR活動を展開。

3. 目標達成の見通し及び今後の対策

昨今の厳しい経済状況から、スケジュールが遅れている事業があるものの、これまで継続的に実施してきた「小倉都心賑わいづくり推進事業」や「小倉地区賑わい回復イベント事業」などの様々なソフト事業の効果や、平成22年12月に完了した「小倉記念病院新築移転事業」の効果による市内外からの来街者の増加により、昨年度に引き続き増加している。

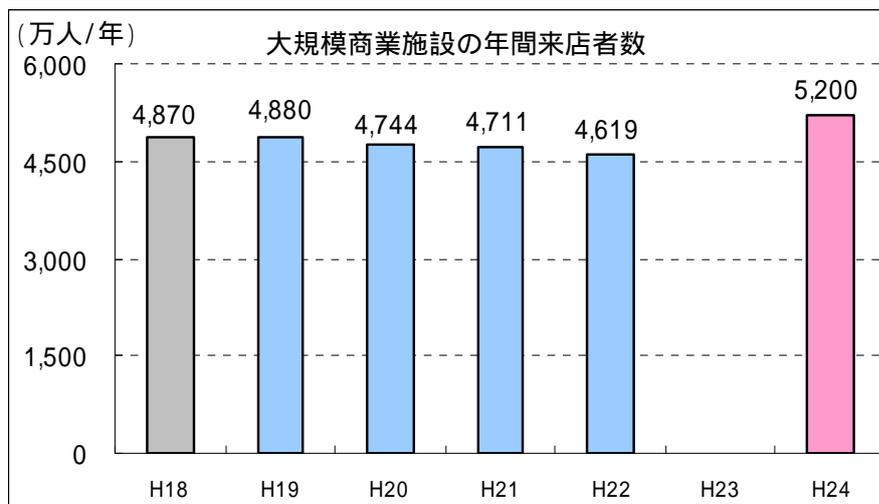
また、平成24年3月には「魚町3丁目複合商業施設開発事業」が完了、平成24年4月には「小倉駅北口商業ビル(ラフォーレ跡)再生事業」や「(仮称)TANGAコンプレックス新築事業」、平成24年8月には「(仮称)北九州市漫画ミュージアム」が完了を予定しているなど、小倉駅を中心に、南北に新たな集客拠点が次々とオープンすることから、小倉駅南北の回遊性を高める新たな取り組みを行うなど、今後も積極的な事業進捗を図ることで、目標の達成は可能と見込まれる。

今後とも、基本計画に位置付けられた事業の着実な進捗とともに、追加事業の掘起しなど地域が一体となって取り組む。

・目標毎のフォローアップ結果「広域商業拠点の賑わいの向上」

「既存の主要大規模商業施設の年間来店者数」 目標設定の考え方基本計画 P70、P80 参照

1. 調査結果の推移



年	(人/年)
H18	48,695,683 (基準年値)
H19	48,798,514
H20	47,443,153
H21	47,105,365
H22	46,191,876
H23	
H24	
H24	52,000,000 (目標値)

調査方法；主要大規模商業施設からの報告による実績値合計

調査月；毎年度（通年）

調査主体；北九州市

調査対象；小倉都心地区内の主要大規模商業施設（井筒屋、リバーウォーク北九州、チャチャタウン小倉、セントシティ北九州、アミュプラザ）における来店者数

2. 目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

- ・小倉記念病院新築移転事業（(財)平成紫川会)【再掲 P. 4 参照】
- ・魚町銀天街ショッピングモール化事業（魚町一丁目商店街振興組合、魚町商店街振興組合）【再掲 P. 4 参照】
- ・小倉地区賑わい回復イベント事業（小倉中央商業連合会）【再掲 P. 4 参照】
- ・小倉都心賑わいづくり推進事業（紫川、勝山公園の魅力を生かした四季折々のイベント）(北九州市/実行委員会)【再掲 P. 5 参照】
- ・井筒屋リニューアル事業（株井筒屋）

事業完了時期	【済】平成21年度
事業概要	井筒屋の店舗のリニューアル事業
事業効果又は進捗状況	井筒屋本店やコレットの改装を順次行っており、コレットに平成21年3月にはロフト、無印良品、6月には福岡デザインコレクションがテナントとして入居するなど都心部の魅力づくりに貢献している。

- ・チャチャタウン小倉2期開発事業（西日本鉄道株）【再掲 P. 5 参照】
- ・小倉駅北口商業ビル（ラフォーレ跡）再生事業（株アパマンショップホールディングス）【再掲 P. 5 参照】
- ・(仮称)北九州市漫画ミュージアム整備事業（北九州市）【再掲 P. 6 参照】
- ・【追加】(仮称)旧小倉ホテル跡地整備事業（住友不動産株）【再掲 P. 6 参照】
- ・【追加】魚町3丁目複合商業施設開発事業（株リアルエステートサービス）【再掲 P. 6 参照】
- ・【追加】小倉都心プロモーション事業（WeLove小倉プロジェクト）(WeLove小倉協議会/実行委員会)【再掲 P. 6 参照】

3. 目標達成の見通し及び今後の対策

当該指標に特に影響が大きい拠点開発等の事業が進んでいないことなどから、昨年度に引続き減少している。

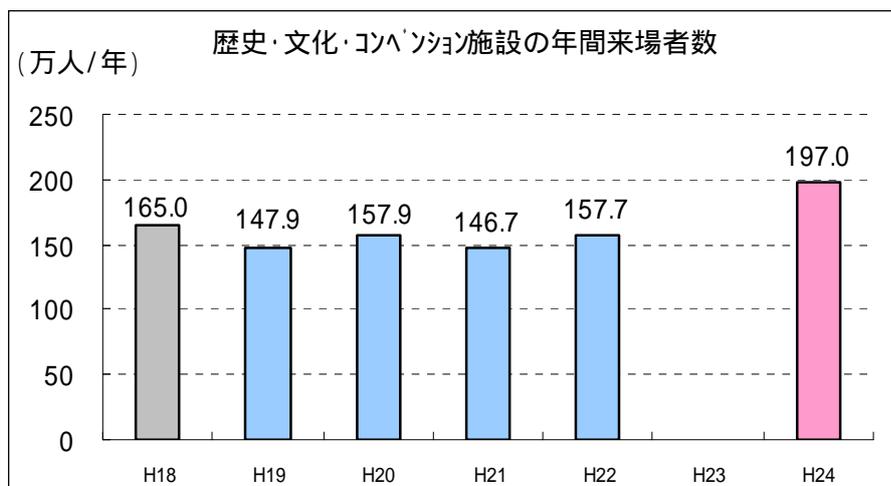
当初、基本計画期間内に完成予定であった主要事業のうち、「旦過第一地区市街地再開発事業」は、地権者の合意形成が難航していたエリアにおいて、市の河川事業と一体的に進めることで早期事業着手できるように、関係機関との協議を開始するなど、官民一体となった事業推進を図っているものの、計画期間内の完了は難しく、また、「チャチャタウン小倉2期開発事業」は、経済情勢の悪化により、平成21年9月に事業主体である西日本鉄道(株)より事業延期の発表があっているなど、数値目標の達成に資する主要事業の進捗に遅れが生じていることから、このままでは目標達成可能とは見込めない。

しかしながら、平成24年3月から8月にかけて「魚町3丁目複合商業施設開発事業」や「小倉駅北口商業ビル(ラフォーレ跡)再生事業」、「(仮称)北九州市漫画ミュージアム」など、小倉駅を中心に、南北に新たな集客拠点が次々とオープンすることや、「小倉さくらまつり」や「小倉食市食座」など、これまで継続的に実施してきた商店街や核的商業施設を中心とした地域一体となったイベントでの来訪者を効果的に回遊させる取り組みを行い、大規模商業施設の集客に繋げることなどにより、目標達成に向けて地域が一体となって取り組む。

・目標毎のフォローアップ結果「文化的で非日常的な都心の魅力向上」

「主要な歴史・文化・コンベンション施設の年間来場者数」 目標設定の考え方基本計画 P70、P89 参照

1. 調査結果の推移



年	(万人/年)
H18	165.0 (基準年値)
H19	147.9
H20	157.9
H21	146.7
H22	157.7
H23	
H24	
H24	197.0 (目標値)

調査方法；各施設からの報告による実績値合計

調査月；毎年度（通年）

調査主体；北九州市

調査対象；小倉都市地区内の主要な歴史・文化・コンベンション施設（小倉城、小倉庭園、松本清張記念館、水環境館、北九州芸術劇場、北九州市立美術館分館、北九州市立文学館、北九州国際会議場、西日本総合展示場新館・本館）の来場者数

最新年度の歴史・文化施設来場者数：97.0万人/日
前年度の歴史・文化施設来場者数：81.1万人/日

2. 目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

・松本清張記念館普及事業（北九州市）

事業完了時期	【実施中】平成20年度～
事業概要	企画展及び講習会等の開催
事業効果又は進捗状況	平成23年度は前年度に引き続き、講演会や企画展を開催。また、新たな催しとしてNHKドラマ上映会を開催した。今後も引き続き企画展や講演会等を実施する。

・北九州市立美術館分館企画展示事業（北九州市）

事業完了時期	【実施中】平成20年度～
事業概要	絵画をはじめ、絵本展、工芸展、ポスター展など幅広いジャンルの展覧会を開催。
事業効果又は進捗状況	平成23年度は、ときわミュージアムと共同企画した「野外彫刻半世紀50」や「幕末・明治の浮世絵展」などを開催した。引続き、多彩な展覧会を実施する。

・（仮称）北九州市漫画ミュージアム整備事業（北九州市）【再掲 P. 6 参照】

・浅野町線（シンボルロード）整備（北九州市）

事業完了時期	【済】平成23年度
事業概要	都市計画道路浅野町線において、周回道路に囲まれた中央広場を多目的に活用できる広場へと整備する。
事業効果又は進捗状況	平成23年8月竣工。市民の憩いの広場として小倉駅北口に整備。平成24年10月には、同会場にて「B - 1グランプリ in 北九州」を開催予定。

・(仮称)小倉駅北口西駐車場の整備(財)平成紫川会)

事業完了時期	【済】平成22年度
事業概要	駐車場の整備 約 15,200 m ²
事業効果又は進捗状況	来街環境の向上策の一つとして、街なかに不足する駐車場を確保するもので、平成21年12月着工、平成22年12月供用開始。

・小倉都心サイン整備(北九州市)

事業完了時期	【実施中】平成25年度
事業概要	小倉都心部内の文化・コンベンション施設等への円滑な誘導、わかりやすい地域情報の提供を目的に歩行者用サインを整備する。
事業効果又は進捗状況	平成22年3月に完成し、都心部の回遊性および周辺施設への来場者増加に寄与。

・【追加】九州厚生年金会館リニューアル事業(北九州市)

事業完了時期	【済】平成22年度
事業概要	ホール機能の存続が危ぶまれていたが、市民要望を受けて、市が直接購入し、リニューアルすることで、大規模ホールの機能が存続維持できた。ホールの愛称は公募で「北九州ソレイユホール」に決定。
事業効果又は進捗状況	平成22年10月にリニューアルオープンし、コンサートや終日開放イベントなどのリニューアルオープン記念イベントを実施することで都心部の回遊性および周辺施設への来場者増加に寄与。

・【追加】小倉都心プロモーション事業(WeLove小倉プロジェクト)(WeLove小倉協議会/実行委員会)
【再掲P. 6 参照】

・【追加】九州新幹線を活用した観光客誘致プロモーション事業(北九州市)【再掲P. 7 参照】

3. 目標達成の見通し及び今後の対策

歴史・文化施設が好調となっており、多種多彩な画家・芸術家等の作品展の開催により、年々来場者が増加している「美術館企画展事業」や、市民要望で存続することが決定し平成22年10月にリニューアルオープンを果たした「九州厚生年金会館リニューアルオープン事業」、本市の歴史資産である小倉城界隈において、小倉城一日城主宿泊体験や史跡探訪ツアーなどの様々なイベントを開催している「小倉城周辺観光振興事業」などの効果により、昨年度から一転、増加に転じている。

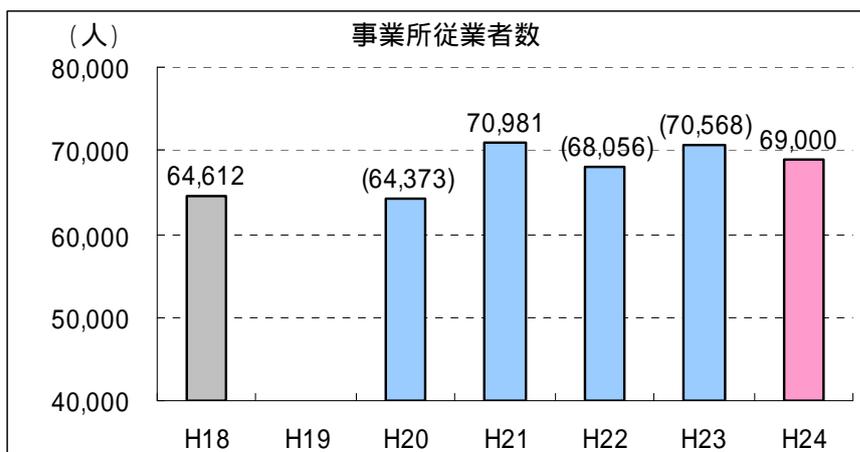
一方、小中規模の展示会等の増加により、本市全体におけるコンベンション施設の年間来場者数は増加しているものの、昨今の厳しい経済状況により、大規模コンベンション施設を利用した展示会等の開催が大幅に減少していることから、コンベンション施設の年間来場者数は減少を続けており、総数として、このままでは目標達成可能とは見込めない。

しかしながら、平成24年度には、昨年度完成した「浅野町線(シンボルロード)」や西日本総合展示場本館、新館等を活用し、全国B級グルメの日本一を競う「B-1グランプリ in 北九州」が開催されるほか、「日本青年会議所全国会員大会」などの大規模なコンベンションを予定しており、今後とも、歴史・文化施設の集客力強化に資する取り組みを継続して実施するとともに、「コンベンション振興事業」等による誘致活動を精力的に行い、目標達成に向けて全力で取り組んでいく。

・目標毎のフォローアップ結果「昼間人口の拡大による活力向上」

「事業所従業者数(民間)」 目標設定の考え方基本計画 P70、P93 参照

1. 調査結果の推移



年	(人)
H18	64,612 (基準年値)
H20	(64,373)
H21	70,981
H22	(68,056)
H23	(70,568)
H24	
H24	69,000 (目標値)

調査方法；H20 は事業所・企業統計調査による独自推計

H21 は経済センサス調査による実測値

H22、H23 は経済センサス調査と業務ビル空室率調査を併せた独自推計

H21 経済センサスと H18 事業所・企業統計調査では、調査手法が異なる

調査月；毎年 7 月

調査主体；北九州市

調査対象；中心市街地内の民間事業所従業者

2. 目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

・小倉記念病院新築移転事業（(財)平成紫川会）【再掲 P. 4 参照】

・チャチャタウン小倉 2 期開発事業（西日本鉄道株）【再掲 P. 5 参照】

・小倉駅南口東地区市街地再開発事業（小倉駅南口東地区市街地再開発組合（予定））

事業完了時期	【未】平成24年度
事業概要	業務施設、商業施設、公益施設及び駐車場を備えた民間再開発ビルの整備。
事業効果又は進捗状況	保留床の処分について、デベロッパーを中心とする関係者が現在調整中。業務・商業・公益施設等の導入による新規雇用が期待される。

・【追加】(仮称)浅野複合老健施設新築事業（社会福祉法人風花会）

事業完了時期	【実施中】平成24年度
事業概要	デイサービス・有料老人ホーム・賃貸住宅・交流センター及び立体駐車場の整備。
事業効果又は進捗状況	平成23年 3 月工事着手、10月に立体駐車場が完成し仮供用を開始。平成24年12月に本体施設完成予定。 デイサービスや老人ホームの運営に必要な介護要員などの新規雇用が期待される。

・(仮称)旧小倉ホテル跡地整備事業（住友不動産株）

【再掲 P. 6 参照】

・魚町 3 丁目複合商業施設開発事業（株）リアルエステートサービス

【再掲 P. 6 参照】

・西小倉駅前第一地区市街地再開発事業

事業完了時期	【済】平成22年度
事業概要	住宅、商業施設及び駐車場を備えた市街地再開発事業
事業効果又は進捗状況	平成23年2月に完成。住宅195戸。昼間人口の拡大による活力向上に寄与。

・【追加】街なかオフィス立地促進事業

事業完了時期	【実施中】H22年度～
事業概要	オフィス需要が低迷する都心部において、特にエリア外から移転・増設する都市型オフィス系事務所等に対して、移転経費の一部を支援するインセンティブにより、都市型業務の進出を促進する。平成23年度からは、中活エリア内に限り補助金の助成期間を延長するなど、都市型オフィスの進出を更に促進する。
事業効果又は進捗状況	平成22年10月、携帯電話会社のお客さま相談センター（雇用180人）が新設された。

・【追加】（仮称）TANGAコンプレックス新築事業

事業完了時期	【実施中】平成24年度
事業概要	高齢者施設、テナント、賃貸マンション、イベントホールを備えた民間ビルの整備。
事業効果又は進捗状況	平成22年度工事着手、平成24年4月完成予定。昼間人口の拡大による活力向上に寄与。

3. 目標達成の見通し及び今後の対策

昨今の厳しい経済状況から「小倉駅南口東地区市街地再開発事業」など、スケジュールが遅れている事業があるものの、平成22年12月に完了した「小倉記念病院新築移転事業」による雇用創出により、当初の想定を上回る1,500人程度の従業者数が増加したことから、平成23年度では目標値を超えている。

今後は、平成24年4月に「小倉駅北口商業ビル(ラフォーレ跡)再生事業」、同年12月に「（仮称）浅野複合老健施設新築事業」が完了を予定しており、更なる雇用創出の拡大が見込まれている。これらの動きに加え、「街なかオフィス立地促進事業」による新たなオフィスの立地に伴う新規雇用の創出や、「若者ワークプラザ北九州運営事業」やベンチャー企業への支援などの就業者対策を、今後も継続して積極的に実施することにより、従業者数の増加に努めていくこととしており、数値目標の達成は可能と見込まれる。